

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ジョブスマイルサービス
住 所	愛知県高浜市湯山町3丁目2番地8
電話番号	0566-52-5039

事業所番号	2314200052
管理者名	酒井 祐香子
対象年度	令和 4年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		5	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない	○		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）		9	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○	
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度		○	
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		7	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		25
地域連携活動	0点				10点				10

合計		115	点	／ 200点
----	--	-----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間			
前年度（令和3年度）			
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	30,940.00	時間	
雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,663	人	
利用者の1日の平均労働時間数	4.03	時間	

(Ⅱ) 生産活動			
会計期間（4月～3月）			
前々年度（令和2年度）			
生産活動収入から経費を除いた額	5,646,924	円	
利用者に支払った賃金総額	25,118,669	円	収支 ▲ 19,471,745 円
前年度（令和3年度）			
生産活動収入から経費を除いた額	7,110,970	円	
利用者に支払った賃金総額	29,109,039	円	収支 ▲ 21,998,069 円

(Ⅲ) 多様な働き方		
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）		
① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度	② 利用者を職員として登用する制度	③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 名 ※取得を進めた免許等： 制度の活用内容：	◎職員として登用した人数 1名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している <input type="checkbox"/> ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している <input checked="" type="checkbox"/> ※登用した日 4年1月4日 勤務形態：パートタイム（非常勤職員） 就業時間：9時00分～15時00分 職務内容：支援業務（職業指導員）	◎在宅勤務を行った人数 名 ※実施した期間：月 日～月 日 就業時間（在宅勤務）：時 分～時 分 職務内容：
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件
◎フレックスタイム制を活用した人数 名 ※実施した期間：月 日～月 日 就業時間（コアタイム）：時 分～時 分 職務内容：	◎短時間勤務に従事した人数 1名 ※実施した期間：4年1月31日～4年2月11日 就業時間（短時間）：9時00分～12時00分 職務内容：軽作業（事業所利用者）	◎時差出勤制度を活用した人数 名 ※実施した期間：月 日～月 日 就業時間（早出の場合）：時 分～時 分 就業時間（遅出の場合）：時 分～時 分 職務内容：
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
◎時間単位取得を活用した人数 30名 ◎計画的付与制度を活用した人数 30名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> 計画的付与制度 <input checked="" type="checkbox"/> 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間 7日 14時間	◎傷病休暇等を取得した人数 1名 ※取得した内容：私的疾病による入院 取得した期間：4年1月15日～4年1月28日 就業時間：9時00分～14時30分 職務内容：軽作業（事業所利用者）	(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上		
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）		
① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	② 研修、学会等又は学会誌等において発表	③ 視察・実習の実施又は受け入れ
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ◎研修実施回数 外部 1回/内部 8回 対象職員数 9人 うち研修受講者数 8人 ※研修名 営業力向上研修 研修講師 つくる。事務所 大羽氏 実施日・受講者数 5月 26日 8人	◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回 ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ	◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input type="checkbox"/> ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> ※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 オプト平針 実施日/参加者数 6月 24日 2人
④ 販路拡大の商談会等への参加	⑤ 職員の人事評価制度	⑥ ピアサポーターの配置
◎販路拡大の商談会等への参加回数 3回 ※商談会等名 ふるさと納税返礼品説明会 主催者名 高浜市総合政策グループ 日時 3月 25日 内容 株式会社ソフトプラスによる全国のふるさと納税の動向等	◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 3年 3月 1日 人事評価制度の対象職員数 11名 うち昇給・昇格を行った者 4名 当該人事評価制度の周知方法 書面及び面談	◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ◎当該ピアサポーターは「障害者」7種「ト研修」を受講している <input type="checkbox"/> ※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容
⑦ 第三者評価	⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/> ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ジョブスマイルサービス
住 所	愛知県高浜市湯山町 3 丁目 2 番地 8
電話番号	0566-52-5039

事業所番号	2314200052
管理者名	酒井 祐香子
対象年度	令和 4 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- ◆活動場所：高浜市論地町
- ◆実施日程：令和 3 年 5 月～令和 4 年 3 月
- ◆実施した生産活動・施設外就労の概要
高浜市内樹脂製品製造を生業とする一般企業への施設外就労（樹脂製品の加工・検品等）
- ◆利用者数：3 名～4 名

<目的>

- ◆地域連携活動のねらい
高浜市内の一般企業と福祉事業所が協力することにより、地域の雇用の安定を図るとともに、当該企業の生産能力の向上を目指す。
- ◆地域のメリット
福祉事業所での施設外就労を実施することにより地域在住障害者の仕事の選択肢が増える。一般企業が持つ障害者雇用に対する不安の解消に繋がる。
- ◆対象者にとってのメリット
利用者の就労意欲の向上、一般就労に向けた企業との関係性の構築が見込まれる。

<成果>

- ◆実施した結果
障害者の職務遂行能力が企業の想像以上であった。
- ◆得られた成果
企業の生産性の安定。費用の削減など。
- ◆課題点
企業と事業所での営業日の違いによる戸惑いがあった。

<活動の様子>



一般企業の環境での作業を経験することにより、自信を持てるようになり、一般就労に関する意識も高まり、就労意欲も向上している。一人ひとりが作業に対して責任を持ち、作業量も日々増えて来ている。

連携先の企業等の意見または評価

- ◆連携した結果に対する意見または評価
事業所の利用者に対する支援が良く、こちらが依頼する業務を日々遂行することができている。社外で委託するにはコストのかかる製品の加工を社内で作業してもらうことができ、当社も助かっている。今では当社の業務に欠かせない戦力となり、生産の安定に大きく貢献してもらっている。当社従業員も含め、障害者に対する意識も変わり、障害者雇用に向けて進んでいる。
- ◆今後の連携強化に向けた課題
将来的な直接雇用を検討しているものの、当社の現状では人数に限りがある。ただし、より多くの事業所利用者に対して経験を積んでもらうことに協力することはできると考えている。

連携先企業名	有限会社 早川化成工業所	担当者名	早川 弘樹
--------	--------------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ジョブスマイルサービス
住 所	愛知県高浜市湯山町 3 丁目 2 番地 8
電話番号	0566-52-5039

事業所番号	2314200052
管理者名	酒井 祐香子
対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- ◆活動場所：高浜市青木町
- ◆実施日程：令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月
- ◆実施した生産活動・施設外就労の概要
高浜市内金属部品加工を生業とする一般企業への施設外就労（金属部品の仕上加工・検品等）
- ◆利用者数：4 名

<目的>

- ◆地域連携活動のねらい
高浜市内の一般企業と福祉事業所が協力することにより、地域の雇用の安定を図るとともに、当該企業の生産能力の向上を目指す。
- ◆地域のメリット
福祉事業所での施設外就労を実施することにより地域在住障害者の仕事の選択肢が増える。
一般企業が持つ障害者雇用に対する不安の解消に繋がる。
- ◆対象者にとってのメリット
利用者の就労意欲の向上、一般就労に向けた企業との関係性の構築が見込まれる。

<成果>

- ◆実施した結果
障害者の職務遂行能力が企業の想像以上であった。
- ◆得られた成果
企業の生産性の安定。費用の削減など。
- ◆課題点
企業と事業所での営業日の違いによる戸惑いがあった。

<活動の様子>



事業所内では経験することが困難な、大型機械を使用しての作業も経験することができている。
自信を持てるようになり、就労に対する意欲の向上にも繋がって来ている。

連携先の企業等の意見または評価

- ◆連携した結果に対する意見または評価
令和 3 年 6 月には、1 名が直接雇用に至った。
施設外就労メンバーも当社の業務に欠かせない戦力となり、生産能力の向上に大きく貢献してもらっている。
コロナ禍の影響で生産数量に波がある中でも、柔軟に対応してもらい助かっている。
当社内の感染症対策にも協力いただき、問題なく営業することができている。
- ◆今後の連携強化に向けた課題
1 名の直接雇用に至り、昨年度より更に連携強化できたと思う。
QCDC・感染症対策など事業所とは違った環境に、多くの利用者さんに理解してもらおう必要がある。

連携先企業名	小笠原技研	担当者名	小笠原 励治
--------	-------	------	--------